

* 暦採用欄の空欄は防除暦に記載のない薬剤

柿登録農薬適用表（殺虫・殺菌）

（R3年11月現在）

用途	毒劇	薬剤名	暦採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
殺菌殺虫剤		石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	10倍	7~10倍	発芽前	—	越冬病害虫・カイガラムシ類・ハダニ類	多硫化カルシウム
							100倍	—		黒星病・うどんこ病	
用途	毒劇	薬剤名	暦採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
殺菌剤		ラビライト水和剤		水和剤	散布	500倍	500~800倍	収穫45日前まで	2回	炭疽病・うどんこ病・落葉病	チオファネートメチル・マンネブ
		トレノックスフロアブル		フロアブル	散布	500倍	500倍	収穫30日前まで	2回	落葉病・炭疽病・うどんこ病	チウラム
		キノドーフロアブル	○	フロアブル	散布	1000倍	800~1000倍	着色期前まで、但し収穫14日前まで	5回	落葉病・炭疽病・うどんこ病	有機銅
		ストロビードライフロアブル		ドライフロアブル	散布	3000倍	3000倍	収穫14日前まで	3回	落葉病・うどんこ病・灰色かび病・炭疽病	クレソキシムメチル
		ベルコート水和剤	○	水和剤	散布	1000倍	1000~1500倍	収穫14日前まで	3回	落葉病・炭疽病・うどんこ病・黒星病・すす点病・灰色かび病	イミノクタジンアルベシル酸塩
		スコア顆粒水和剤	○	顆粒水和剤	散布	3000倍	3000倍	収穫前日まで	3回	落葉病・炭疽病・うどんこ病	ジフェノコナゾール
		トップジンM水和剤	○	水和剤	散布	1500倍	1000~1500倍	収穫前日まで	6回	落葉病・炭疽病・うどんこ病・黒星落葉病・すす点病	チオファネートメチル
		オーソサイド水和剤	○	水和剤	散布	1000倍	1000倍	収穫7日前まで	5回	落葉病・炭疽病・すす点病	
	ベンコセブ水和剤	○	水和剤	散布	600倍	400~800倍	収穫45日前まで	2回	炭疽病・落葉病	マンセブ	
用途	毒劇	薬剤名	暦採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
殺虫剤		スプレーオイル	○	乳剤	散布	25倍	25倍	発芽前	—	クワシロカイガラムシ	マシン油
	劇	スプラサイド水和剤	○	水和剤	散布	1500倍	1500倍	収穫30日前まで	3回	カイガラムシ類・カキノヒメヨコバイ (チャノキイロアザミウマ1000倍) カキクダアザミウマ・カメムシ類	DMTP
	劇	ダイアジノン水和剤34	○	水和剤	散布	1000倍	1000倍	収穫45日前まで	4回	ハマキムシ類・オオワタコナカイガラムシ若齢幼虫・アメリカシロヒトリ	ダイアジノン
		アプロード水和剤	○	水和剤	散布	1000倍	1000倍	開花期まで、但し収穫45日前まで	2回	カイガラムシ類幼虫	ブプロフェジン
	劇	モスピラン顆粒水溶剤	○	顆粒水溶剤	散布	2000倍	2000~4000倍	収穫前日まで	3回	カキノヘタムシガ・カイガラムシ類・カキノヒメヨコバイ アザミウマ類・カメムシ類	アセタミプリド
		スタークル顆粒水溶剤		顆粒水溶剤	塗布 散布	1gあたり1mlの水で混合	20~40g/樹	発芽前~発芽期	1回	コナカイガラムシ類(主幹から主枝の粗皮を環状に剥いだ部分に塗布する)	ジノテフラン
							2000倍	収穫前日まで	3回	カキノヘタムシガ・コナカイガラムシ類・チャノキイロアザミウマ・カキクダアサゼミウマ・カメムシ類	
		ダントツ水溶剤	○	水溶剤	散布	2000倍	2000~4000倍	収穫7日前まで	3回	アザミウマ類・コナカイガラムシ類・カキノヘタムシガ クロチアニジン・カメムシ類	クロチアニジン
	オリオン水和剤	○	水和剤	散布	1000倍	1000倍	21日前まで	1回	アザミウマ類・イラガ類・カイガラムシ類・カキノヘタムシガ ハスモンヨトウ・カキノヒメヨコバイ・ケムシ類・ハマキムシ類		
	サムコルフロアブル	○	フロアブル	散布	5000倍	5000倍	収穫前日まで	3回	ヒロヘリアオイラガ・ハマキムシ類・フタモンマダラメイガ・ カキノヘタムシガ・ハスモンヨトウ・ケムシ類	クロラントラニリプロール	